

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 大田花き
コード番号 7555 URL <https://otakaki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表執行役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,087	△3.7	94	△42.6	135	△28.3	94	△26.4
2023年3月期第2四半期	2,166	11.2	164	94.1	188	78.4	127	79.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 94百万円 (△26.4%) 2023年3月期第2四半期 127百万円 (79.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	18.52	—
2023年3月期第2四半期	25.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	9,116	4,952	54.3	973.41
2023年3月期	8,810	4,934	56.0	969.89

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,952百万円 2023年3月期 4,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,082	△4.7	161	△47.0	206	△50.8	147	△51.7	29.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	5,500,000 株	2023年3月期	5,500,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	412,326 株	2023年3月期	412,326 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	5,087,674 株	2023年3月期2Q	5,087,674 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行後、旅行、観光、外食、各種イベントなど経済活動の正常化が進み、インバウンド消費も景気を後押しする形で緩やかな回復基調となりました。一方で資源価格の高騰や人手不足問題、円安による物価上昇に加えて世界的な金融引き締めによる景気後退懸念など先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては業務需要動向として結婚式は昨年コロナ禍で延期されていたものが集中する状況は解消され、葬儀も規模を縮小して行われることが定着したものの件数は昨年よりも増加し、いずれもコロナ前の水準となりました。個人需要の方は物価の高騰が続く中で消費者は価格に敏感な姿勢が見られましたが、コロナ禍で定着したホームユース需要は健在で手頃な価格帯の花がよく売れていました。

花きの供給量は生産コストや輸送コストの高騰などで国内生産量は減少傾向が続いており、輸入品も為替の影響で入荷量は増えづらい環境となっております。また、生産者は出荷先を消費力の高い首都圏の市場に集約を進めており、全体の流通量が減少する中でも当社には多種多様な花が潤沢に揃う状況でした。

このような状況の中、当社グループは日本全国に安定して花を供給するために生産者、流通業者、小売業者と協力して生活者のニーズに的確に応えられるようにサプライチェーンの構築に取り組んでまいりました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,087,234千円(前年同四半期比3.7%減)、営業利益94,206千円(前年同四半期比42.6%減)、経常利益135,036千円(前年同四半期比28.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益94,212千円(前年同四半期比26.4%減)となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は9,116,899千円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ364,657千円増加し4,540,250千円、固定資産は前連結会計年度末に比べ58,224千円減少し4,576,649千円となりました。流動資産の主な内訳は、売掛金2,207,353千円、現金及び預金2,054,027千円、固定資産の主な内訳は建物及び構築物2,532,470千円です。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,164,517千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ393,164千円増加し2,624,111千円、固定負債は前連結会計年度末に比べ104,628千円減少し1,540,406千円となりました。流動負債の主な内訳は、受託販売未払金1,898,211千円、固定負債の主な内訳は長期借入金547,126千円、退職給付に係る負債511,217千円です。

純資産は前連結会計年度末に比べ17,897千円増加し4,952,382千円となりました。これは剰余金の配当76,315千円、親会社株主に帰属する四半期純利益94,212千円の計上によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して390,676千円増加し2,154,598千円となっております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、666,790千円(前年同四半期は278,825千円の増加)となりました。これは主に、仕入債務の増加425,212千円、税金等調整前四半期純利益135,036千円、減価償却費130,433千円によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、60,004千円(前年同四半期は10,614千円の使用)となりました。減少要因は、有形固定資産の取得による支出60,019千円、無形固定資産の取得による支出14,395千円であり、増加要因は貸付金の回収による収入14,410千円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、216,109千円(前年同四半期は231,344千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出133,760千円、配当金の支払76,008千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,678,358	2,054,027
売掛金	2,257,473	2,207,353
商品	971	1,276
その他	238,790	277,593
流動資産合計	4,175,593	4,540,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,594,640	2,532,470
工具、器具及び備品(純額)	273,672	301,154
その他(純額)	107,140	107,037
有形固定資産合計	2,975,453	2,940,661
無形固定資産		
ソフトウェア	91,068	86,995
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	95,333	91,260
投資その他の資産	1,564,086	1,544,727
固定資産合計	4,634,873	4,576,649
資産合計	8,810,466	9,116,899
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	1,476,909	1,898,211
買掛金	60,196	65,189
1年内返済予定の長期借入金	292,908	289,968
未払金	59,912	76,196
未払法人税等	91,764	55,623
賞与引当金	20,500	73,819
その他	228,755	165,103
流動負債合計	2,230,946	2,624,111
固定負債		
長期借入金	677,946	547,126
退職給付に係る負債	489,164	511,217
資産除去債務	145,093	146,014
その他	332,831	336,048
固定負債合計	1,645,035	1,540,406
負債合計	3,875,981	4,164,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,330,657	4,348,555
自己株式	△350,539	△350,539
株主資本合計	4,934,485	4,952,382
純資産合計	4,934,485	4,952,382
負債純資産合計	8,810,466	9,116,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,166,714	2,087,234
売上原価	658,281	622,206
売上総利益	1,508,432	1,465,028
販売費及び一般管理費	1,344,340	1,370,821
営業利益	164,091	94,206
営業外収益		
受取利息	1,665	1,401
受取配当金	11,459	11,459
持分法による投資利益	6,812	18,005
その他	6,724	11,725
営業外収益合計	26,662	42,592
営業外費用		
支払利息	2,393	1,763
営業外費用合計	2,393	1,763
経常利益	188,361	135,036
特別利益		
補助金収入	23,791	—
特別利益合計	23,791	—
特別損失		
固定資産圧縮損	23,791	—
特別損失合計	23,791	—
税金等調整前四半期純利益	188,361	135,036
法人税等	60,442	40,823
四半期純利益	127,919	94,212
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,919	94,212

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	127,919	94,212
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	127,919	94,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,919	94,212
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	188,361	135,036
減価償却費	132,233	130,433
賞与引当金の増減額(△は減少)	71,590	53,319
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20,276	22,052
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,765	9,486
受取利息及び受取配当金	△13,125	△12,861
支払利息	2,393	1,763
固定資産圧縮損	23,791	—
補助金収入	△23,791	—
持分法による投資損益(△は益)	△6,812	△18,005
売上債権の増減額(△は増加)	228,608	50,979
棚卸資産の増減額(△は増加)	△957	1,219
仕入債務の増減額(△は減少)	△212,713	425,212
未収入金の増減額(△は増加)	10,479	3,897
未払費用の増減額(△は減少)	△4,956	△10,912
未払金の増減額(△は減少)	7,865	8,493
未払又は未収消費税等の増減額	△54,165	△30,002
その他	△50,380	△71,130
小計	331,462	698,981
利息及び配当金の受取額	18,869	21,053
利息の支払額	△2,393	△1,556
補助金の受取額	—	23,200
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△69,113	△74,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	278,825	666,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,932	△60,019
無形固定資産の取得による支出	△5,300	△14,395
貸付金の回収による収入	15,617	14,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,614	△60,004
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△161,904	△133,760
配当金の支払額	△60,826	△76,008
リース債務の返済による支出	△8,614	△6,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231,344	△216,109
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	36,866	390,676
現金及び現金同等物の期首残高	1,585,369	1,763,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,622,236	2,154,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについては、当社グループが現時点で入手可能な情報を踏まえ、2024年3月期の一定の期間にわたり当該影響が継続するものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っておりますが、将来の不確実性が当社グループが行った会計上の見積りや結果に影響を与える可能性があります。